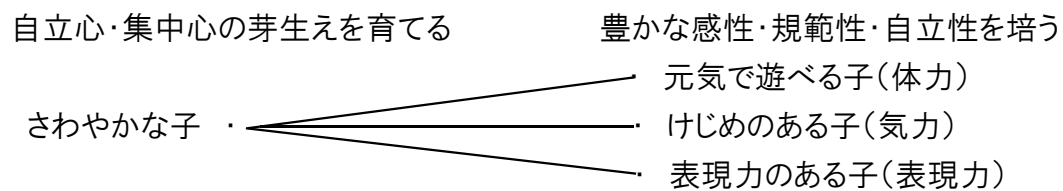


平成29年度 学校法人とくのう学園黒田幼稚園 学校評価

1. 本園の教育目標

(教育目標)



(学年目標)

- ・遊べる子(年少)
- ・夢中になれる子(年中)
- ・聞くことのできる子(年長)

(指導指針)

優しく、丁寧に、理を分け、可能な限り具体を通して納得のいく指導に努め、聞き入れる力・行動に移せる力を高める指導を進める。

(指導の重点)

望ましい環境構成に努め、園児の理想的な成長を促す

- ・生涯学習理念で教育を進める
- ・自立と共生、気力と体力の調和的発達を目指す
- ・「一園一学級」を旨とする
- ・小学校との連携を大切にする

2. 教師の自己評価とそれに対する学校関係者評価結果

評価基準/A:当てはまる B:どちらかと言えば当てはまる C:どちらかと言えば当てはまらない D:当てはまらない

(1) 保育の計画性

主な評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評価	取り組み状況	評価	ご意見・ご感想
指導計画は、園の方針を踏まえ、子どもの実態などを考慮して作成している。	B	*子ども達は、楽しく無理なく取り組んでいると思うが少し内容が詰まっていたり、自由遊びの時間が短くなってしまう。 *職員会議や学年会議で、学年・クラスごとと子どもの実態に合わせて計画を立てている。	A	*ごっこ遊びは、こどものアイデアがたくさん出てすごく良い時間だと思います。
子どもの記録を大切に、次の保育に生かしている。	B	*日々の出来事(できるようになったこと・トラブル等)を記録し、振り返り保育に役立てている。 *一人ひとりの日々の変化や成長を大切にしている。	A	

(2) 保育の在り方 幼児の対応

子どもの健康と安全には、常に配慮している。	B	*子どもの顔色・様子の変化は、とても気をつけてみている。部屋では机の位置、物の置き方等危険のないように気をつけている。 *一園一学級で職員全体で見ることができている。子どもの動きを予測し見通すことを大切にしている。	A	*子どもの一瞬の異変に気づき、すぐに対応していただき、その様子を細やかに教えてくださり、感謝と共に安心して預けられる。 *先生方は常に細かい所まで目配り、心配りをしてくださっており子ども達が安全に楽しく過ごせるように尽力してくれている。
子どもが好きである。子どもに共感し、一人ひとりの良さを認めている。	A	*もともと、子どもに共感し、良い面を伸ばせるように関わっていききたい。 *子どもが好きだという思いは常にある。子どもの気持ちに寄り添い、良いところは声に出してたくさん褒めるようにしている。	A	*子どもの長所や個性を見つけて褒めてもらうことで、自信がつけ更に頑張ろうと思うようで、成長が見られた。
個と集団を大切にしたい保育を行っている。	B	*一人ひとりを見るのはもちろん、その一人を取り巻く環境がより良いものになっていくような関わり方ができるよう保育をしている。 *集団生活をする中でけじめや大切なことを伝えながら保育し、子ども同士の関わりによって成長できる部分をもっと増やしていきたい。	A	*職員により子どもに対する接し方の差が大きいように思える。例としてこどもの話をよく聞いてくれるか否か等。 *先生個々の考え方に合わせようとするところも少々見られた。

(3) 保育者としての質の向上のための努力・良識

幼稚園教諭としての指導の「引き出し」を多くしようと心がけている。	B	*研修で学んだり他の先生方の報告から学び自分の保育に取り入れたりしている。 *先輩や同僚の先生から見て学び、真似したり、相談したり、実践することにより少しでも自分の保育力をつけるようにしている。	A	
守秘義務を果たしている。	A	*園での大事な情報や、子どもに関する事、職員に関する事については園外で口外しない。	A	

(4)保護者への対応

園だより、クラスだよりなどを通して子どもの様子・教育内容を発信している。	A	*文章表現がまだまだ未熟だが、どんな思いで何を大切にしているかが伝わるように努力して発信している。 *おうちの方に分かり易く、楽しいおたよりが書けるようにしている。	A	*クラスだよりは、園生活の見えない部分がよくわかります。子ども達の発言や行動の成長や驚きがたくさん詰まっています。先生が本当に子ども達のことをよく見てくれていることをとても嬉しく感謝しています。
保護者とのコミュニケーションを大切に、子どもの様子を共通理解している。	B	*バス通園でなかなか会えない保護者には機会があれば話すようにしているが、全く会えない方もありコミュニケーション不足を感じる。 *送迎時など子どもの頑張りや様子を伝えると、家でも誉めてくれたり、家の様子も教えてくれるので、貴重な機会だと思っている。子どもの現れで保護者と情報を共有したいことがあれば、主任などとも相談し伝えている。	B	*担任でなくても行事の時の様子を教えてくれたり、保護者が風邪や具合が悪いと心配して声をかけてくれてありがたい。機会があればコミュニケーションを取ってくれています。 *先生に合う機会、ゆっくりと話せる機会は減多にないが、子ども達優先で、少ない保育時間の中でそのような時間を取れないのは仕方がないことだと思う。しかし、園でのこどもの様子をもっと知りたい保護者は少なくない。

(5)地域の自然・社会との関わり

地域の自然や施設・機関を保育に活用している。	B	*園外保育で園外だからこそ学べる道路の渡り方、園にはない植物、知らない人にもあいさつをする経験など伝えながら経験できる場として活用している。もっといろいろな知識を私自身がつけて行きたい。 *時間に追われ、ゆったりとした保育計画や散歩、施設の有効利用がうまくできていないところが課題。	B	*せっかくの園外保育をなぜ水曜日のバナナ日課に行っているのか 疑問。施設の利用時間等、いろいろな理由があるとは思いますが、納得する説明が欲しいところ。 *園外保育等で安全重視のあまり、慎重になりすぎているように感じる。
------------------------	---	--	---	--

(6)研修への取り組み

年に一回以上は外部研修に参加し保育に役立っている。	A	*自分の保育を振り返る時間になったり、新しい情報を得たり良い刺激になっている。 *研修の後全職員で研修報告を行い、参加していない研修内容も学ぶ事ができている。	A	
本園の研修主題に沿った保育を実践することにより、子どもを深く理解し、成果に繋げる努力をしている。	B	*まだ手探り中で、実践するまでには話し合いがもう少し必要である。 *子どもの自己肯定感、とても大切だと改めて感じる事ができ、保育にも役立てられるよう気をつけている。	B	*どんな研修をしているのか分からないので評価が難しい。

(7)園運営

子ども達が育つ園行事を企画し実施している。	A	*行事の計画を立てる時は、全職員で前年の反省を読み、振り返り、企画している。 *行事において“過程”を大切にしていることで、本番も、子どもが不安なく取り組めると感じている。	A	*ここ数年、夏まつりの時間帯が早まり、花火の時にまだ明るくて物足りなさを感じました。 *国の方針により働く保護者が増え、今までのように活発な父母の会の運営が困難になってきて、園の行事のお手伝いのできないので、仕方がないのですが少しさみしいです。
-----------------------	---	---	---	---

3. 学校関係者評価委員からのその他のご意見・ご感想

<p>*職員の日々の元気な声が健全な黒田幼稚園である証明です。</p> <p>*黒田幼稚園の通い始めた頃、先生方がすぐに子ども達の名前を覚えて、クラス以外の子どもの事をよく知っていることに驚かされた。</p> <p>*職員が卒園した小学生にもたくさん声をかけている姿をよく見かけ温かさを感じる。</p> <p>*先生方一人ひとりの子どもと向き合おうとするモチベーションが高く、それが相乗効果となり、園全体の保育環境の質の高さとなっている。</p> <p>*広い目と大きな愛で子ども達を見守り、正面から向き合い、誠実に、対応してくれる先生方ばかりなので安心して子どもを送り出すことができる。</p> <p>*子どもに対しても常に100%でぶつかり、共に努力し、共に泣き笑い、一生懸命な先生方の姿には大変感心し、尊敬と感謝をしている。</p> <p>*いつもどの先生も、子ども達にたくさんの愛情を注いでいただけていることを実感しています。</p> <p>*どの行事も、本当にいろいろなことを考慮してこどものことを第一に考えて、その後の流れなど本当にスムーズに計画を立ててくださっています。</p> <p>*時代の変化といえばそうかも知れませんが、以前に比べて親に対して気を使いすぎなのではと思うところもあります。</p> <p>*子どもが楽しく園生活を送り、子ども達が健やかに成長できるよう、今後も園の良いところを守りつつ、子どもにとっても親にとっても魅力ある園を作ってください。</p>
--

4. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
園の思いを伝える努力と保護者の希望を汲み取る努力	・園だより及び保護者が集まる機会に園の思いを伝える内容を織り込む。 ・保護者アンケートの実施。
研修目標の明確化と徹底	・研修目標である「子どもの自己肯定感を育む教育」を目指すために、日頃から職員・子どもとも他者の存在を認め、自己肯定感の高まる接し方に心掛ける。 ・良い事例を出し合い学ぶ。